

新日本消防会館につきまして

◎日本消防防災情報センターの整備

- 展示スペースの活用に関する現時点での基本的な考え方は別紙1のとおりです。
- 展示テーマ、素材収集、展示製作等については、今後の状況に応じて弾力的に対処します。ご協力をお願いします。

◎新会館ホールの活用

- 1,000席のホールは大いに活用します。そのため、開館のおよそ1年前から予約受付を開始します。
- そのため、日本消防協会が主催する完成記念イベント等は早目に決定します。消防関係団体など、優先的にご利用頂く必要がある団体については、今年秋か年末頃までには、あらかじめご意向をうかがうこととします。
- まだ殆ど白紙状態ですが、日本消防協会内では別紙2のようなものを議論しています。

◎消防関係者の「たまり場」設置

- 巾広い消防関係者の休憩、交流の場として、いわゆる「たまり場」を新会館6階に設けます。多様な活用が楽しみです。

(別紙1)

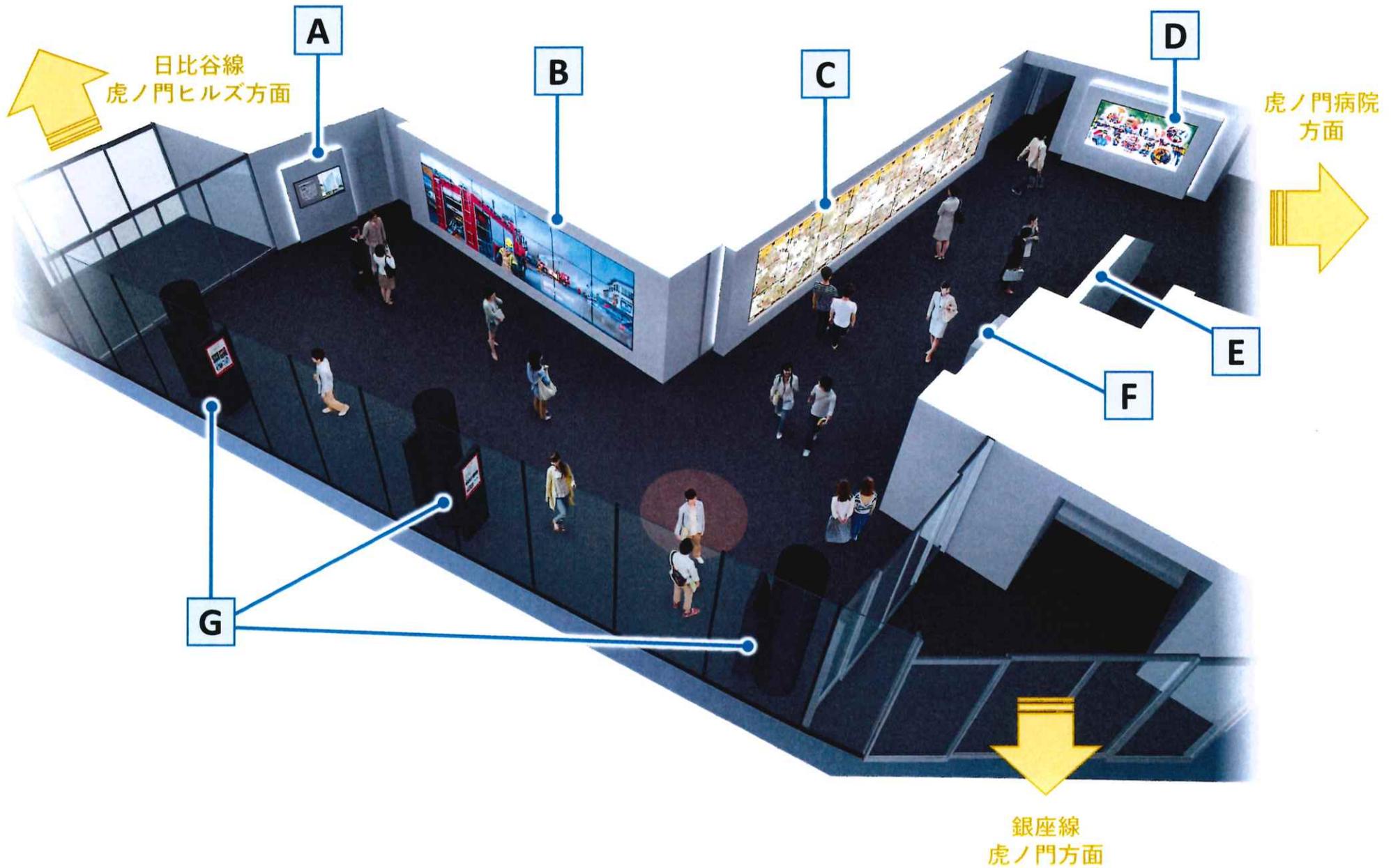
日本消防防災情報センターの整備構想

- 1 日本消防防災情報センターの整備については、これまで関係者による整備委員会において協議している。現段階での全体構想は別紙「日本消防防災情報センター概要」のとおりである。
 - Aゾーンでは、日本消防会館の沿革等を示す。
 - Bゾーン及びCゾーンでは、日本消防の充実強化等に大きな影響を与えた大規模な災害体験等の体験を分析展示する。
 - Dゾーンでは、日本消防の沿革を中心に、海外消防の状況等をまじえて展示する。
 - Eゾーン以下の小画面では、国内各地の幅広い消防防災活動の状況等を展示する。

- 2 Bゾーン及びCゾーンにおける開館時の展示については、関東大震災、阪神淡路大震災等をテーマとする展示を行い、その後、大規模火災、大規模風水害等をテーマとする展示を行う。

- 3 展示の製作については、関係機関に対して素材提供へのご協力をお願いするとともに、専門的な知識を有する人々のご協力を頂くこととする。
 - また、センターのPRに努め、これを活用する消防防災情報の展示について、幅広い皆さんのアイディア、素材の提供についてご協力をお願いする。そうして、新たな災害に関する情報提供などを含め、センターの弾力的な活用拡大に努める。

日本消防防災情報センター概要



(別紙 2)

新日本消防会館 完成記念事業(調整中)

今後、関係機関、関係団体を含めてさらに検討

1 記念式典・記念シンポジウム

- 新日本消防会館完成記念祝賀会 …… 令和6年6月又は7月
- 新日本消防会館完成記念シンポジウム …… 祝賀会と同日
「新会館に期待するもの」

- 「これからの日本消防」記念シンポジウム …… 令和6年夏頃
- 「がんばれ！日本消防」 …… 令和6年夏頃
消防応援団による激励コンサート

- 「消防は世界を守る」記念シンポジウム …… 令和6年秋頃
世界主要国消防トップによるシンポジウム
- 全国消防関係者のど自慢大会 …… 令和6年秋頃

2 日本消防防災情報センターにおける記念展示

- 現在の日本消防に大きな影響を与えた大規模災害 …… 新会館完成時
関東大震災、阪神淡路大震災、東日本大震災

- 現在の火災対策に大きな影響を与えた大規模火災 …… 上記に続く適切な時期
千日デパート、大洋デパート、
ホテルニュージャパン、新宿歌舞伎町 等

- 全国各地の消防防災活動事例、消防団確保への消防団PR事例
…… 完成時から入れ替え
ながら連続展示

3 「消防関係者たまり場」発アイディアの発信

消防関係者たまり場で寄せられた消防防災をめぐる現場発の意見を整理して発信

(注) 新会館竣工式は別途開催